

## デザインコードの主な内容

7つの空間構成要素のそれぞれについて、配置、素材、形状、色彩など、デザインを方向づけるためのルールをまとめています。ここでは、「デザインコード」の主な内容をご紹介します。

### 「地面」デザインコード

- ・歩行者にやさしい舗装
- ・線路や電車の記憶を組み込む工夫
- ・共通の素材と色彩
- ・風合いが保たれる素材



### 「照明」デザインコード

- ・樹木を照らす等、立体的な演出
- ・メリハリのある空間の演出
- ・連続性のある空間の創出
- ・季節やイベント時を想定した工夫



### 「サイン・看板」デザインコード

- ・適切な規模、見やすい位置
- ・線路や電車の記憶を取り込む工夫
- ・共通の素材、デザインによる連続感
- ・更新しやすいディテール



キリトリ線

### 「植栽」デザインコード

- ・季節の変化を感じさせる樹種の選定
- ・周辺住宅地へのプライバシーに配慮
- ・視覚的な連続性を意識
- ・市民との協働による育成管理



### 「境界」デザインコード

- ・柔らかにつなげる工夫
- ・周辺の設えに馴染ませる
- ・一体的な計画
- ・街角（交差点）の演出



### 「ストリートファニチャー」デザインコード

- ・場所に応じた機能的なベンチ
- ・ちょっとした気遣いのあるデザイン
- ・線路や電車の記憶を取り込む工夫
- ・市民の創作活動につながる工夫



### 「工作物など」デザインコード

- ・周辺への配慮と調和
- ・意匠性への配慮と適切な配置
- ・一体感のある空間の演出
- ・線路や電車の記憶を取り込む工夫



# 北沢デザイン通信 号外

～思いつながら、人つながる、街つながる～

平成27年8月発行  
世田谷区都市整備部都市デザイン課

アンケートにご協力ください。

お知らせ

## 「北沢デザインガイド」素案

を作成しました。

Total Design Guide Book

世田谷区では、小田急線上部（代々木上原駅～梅ヶ丘駅間）を利用した駅前広場、通路、緑地・小広場、防災施設など、公共施設の整備に向け検討を進めています。

平成26年度には、上部利用（区施設）全体について、区民のみなさんとともに「デザインコンセプト」を作成し、今年度は、「デザインコンセプト」に基づき区施設の整備を進めるため、「（仮称）トータルデザイン指針」の作成に取り組んでいます。

このたび、指針の名称を「北沢デザインガイド」とし、素案を作成しました。本通信では、素案の概要をご紹介しますとともに、アンケートを実施しますので、ぜひご意見をお寄せください。

## 「北沢デザインガイド」とは？

小田急線の上部空間の整備や周辺の街づくりにあたって、地域の個性を生かしながら、秩序のある連続した空間づくりに役立つためのデザインの指針として策定します。

「上部利用デザインワークショップ」により導き出された「デザインコンセプト」の理念を実現するため、区施設の整備におけるデザインの方針や具体的方策を示すとともに、周辺施設に対して区施設とのデザインの調整をお願いする際の区の指針としても活用していきます。

「北沢デザインガイド」の策定は、平成27年10月を予定しています。

素案の概要は、2～4ページをご覧ください。また、素案の全編は、区のホームページ又は北沢総合支所街づくり課（北沢タウンホール6階）及び都市デザイン課（区役所第1庁舎4階）で閲覧いただけます。

北沢デザインガイド（素案）▶



## アンケートのお願い

「北沢デザインガイド」（素案）について、地区沿線にお住まいのみなさんから広くご意見をいただき、ガイドに反映していきたいと考えています。

左のハガキの【1】～【3】の項目ごとにご意見を記入いただき、切り取りの上、ご提出ください。

- 提出方法**
- ①ハガキを切り取って郵送（切手不要）
  - ②ファクシミリ送信（03-5432-3023）
  - ③都市デザイン課又は北沢総合支所街づくり課に直接持ち込み

**締め切り** 平成27年8月28日（金）  
（①消印有効、②・③は必着）

**問い合わせ先** 世田谷区都市整備部都市デザイン課  
（担当：湖東、一坪、宮田）

〒154-8504  
世田谷区世田谷 4-21-27 世田谷区役所第1庁舎4階  
電話：03-5432-2054 ファクシミリ：03-5432-3023

区のホームページからの参照方法

素案全編

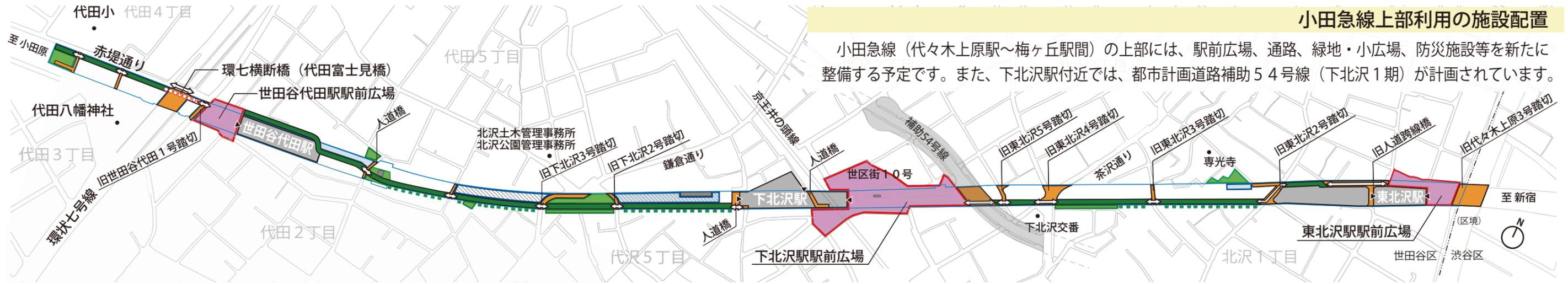
トップページ▶▶

くらしのガイド▶▶

○住まい・街づくり・交通  
都市デザイン▶▶

「北沢デザインガイド」素案

# 「北沢デザインガイド」素案の概要



## 小田急線上部利用の施設配置

小田急線（代々木上原駅～梅ヶ丘駅間）の上部には、駅前広場、通路、緑地・小広場、防災施設等を新たに整備する予定です。また、下北沢駅付近では、都市計画道路補助54号線（下北沢1期）が計画されています。

## デザインコンセプトと方針 デザインコード

「3つのデザインコンセプト」を実現するため、コンセプトに含まれる「6つの視点」に沿って考慮すべき点を「デザイン方針」にまとめています。「方針1～6」に対応し、空間を構成する7つの要素<sup>※1</sup>について、配置、素材、形状、色彩など、デザインを方向づけるためのルールが、「デザインコード」です。

「デザインコード」の主な内容は、4ページをご覧ください。

※1：7つの空間構成要素  
「植栽」、「地面」、「境界」、「照明」、「ストリートファニチャー」、「サイン・看板」、「工作物など」

### コンセプト1

自然を感じる空間  
人々の集い

『四季を感じ、みんなにやさしい空間が、多様な人々をつなぐ』

#### 方針1

自然を感じる空間

- 四季の彩りと変化に溢れ、自然が醸し出す潤いを感じられること
- 1年を通じて誰もが心地よく過ごせること

#### 方針2

人々の集い

- ヒューマンスケールを尊重し、訪れる人々に安心感をもたらすこと
- 賑わいと落ち着きを創出し、人々のふれあいを生み出すこと

### コンセプト2

街の記憶  
街の風景

『街の記憶や風景を映し、3駅につづく新たな路が、私たちの地域をつなぐ』

#### 方針3

街の記憶

- 地層のように折り重なった周辺の街の歴史や記憶を取り込むこと
- 多くの人々を運び続けている線路が敷かれていた思い出を残すこと

#### 方針4

街の風景

- 賑やかな街、落ち着いた街、それぞれの街並みや佇まいを映し込むこと
- 3つの地域を結ぶ“都市の中の回廊”により新たな街の風景を創り出すこと

### コンセプト3

空間の変化  
市民の関わり

『みんなで創り育て、ゆるやかに変わる場所が、時を超え心をつなぐ』

#### 方針5

空間の変化

- 世代が変わっても魅力を失わず、時間をかけてゆっくりと変化していくこと
- 人々の活動の積み重ねが地域の文化となり、それが形になって表れること

#### 方針6

市民の関わり

- 街を見守り育て活動の場となり、尊い想いを次の世代に伝えられること
- キラリと光る活動が場所に活力をもたらし、集まるみんなが主人公であること

### 凡例

↔	交差道路等通行の安全性の確保	■	駅前広場(世田谷区整備)
■	鉄道事業者施設(駅舎等)	■	通路( " )
▶	改札口	■	緑地・小広場( " )
■	交差道路	■	立体緑地( " )
○○○○	環七横断橋(世田谷区整備)	■	自転車等駐車場(小田急電鉄整備)

### 7つの空間構成要素

- 「植栽」
- 「地面」
- 「境界」
- 「照明」
- 「ストリートファニチャー」
- 「サイン・看板」
- 「工作物など」

### デザインコード

方針1 自然を感じる空間	方針2 人々の集い	方針3 街の記憶	方針4 街の風景	方針5 空間の変化	方針6 市民の関わり
変化に富んだ植栽	環境への配慮	場所の個性を演出	つながりを意識	時間の経過に対応する素材	活動に結びつくみどり
エッジを和らげる	人にやさしい舗装	線路や電車の記憶	連続性を感じる素材・色	変化に対応するシステム	季節感やイベントの演出
配光に考慮・工夫	一体的なプランニング	地域の歴史や線路の記憶	街角を演出する		市民との協働
	空間の演出		つながりを表現		
	多様な用途・複合的な用途		つながりを表現		
	見え方への配慮		つながりを表現		
	意匠に配慮(工作物)		つながりを表現		